

第5次弟子屈町総合計画体系図

基本構想(まちの将来像・地域コンセプト)

水と森と人が共に輝き、活力あふれる自立したまち



まちづくりの基本目標(まちの10年の計を考える)

環 人と自然が共生するまちづくりを進めます
～豊かな自然を守るために～

まちづくりの柱
自然環境の保全と活用／循環型社会の構築

活 まちに活力・活気・雇用を生み出すまちづくりを進めます
～元気なまちをつくるために～

まちづくりの柱
観光と農業を柱とした地域活性化の推進／雇用・新産業の創出／足腰の強い産業育成

暮 誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます
～生き生きとした生活を送るために～

まちづくりの柱
保健医療体制の充実／地域福祉の充実／子育て支援／生活基盤の向上／安全・安心の確保

育 豊かな心を育て、文化を大切にするまちづくりを進めます
～健やかな生涯を送るために～

まちづくりの柱
学校教育の充実／社会教育活動の推進／文化・スポーツ活動の推進



まちづくりの基本手段(基本目標を達成するための下支え)

人 まちづくりに興味と関心を持ち、行動する人を育てる仕組みを作ります

まちづくりの柱
人材育成・人づくり・人材の確保／まちづくりを支えるネットワークの形成・交流活動支援

公 誰でもまちづくりに参加することができる場や体制を作ります

まちづくりの柱
ともに汗をかき進めるまちづくり／時代に即し、透明度の高い行政運営



10年後も、みんなが輝くために

広報てしかが4月号でお知らせしたとおり「第5次弟子屈町総合計画(計画期間/2012年度～2021年度)」が策定されました。





本計画では、10年後のまちの将来像(基本構想)を「水と森と人が共に輝き、活力あふれる自立したまち」とし、実現のための4つの基本目標と2つの基本手段を定めました。将来、まちがこの目指すべき姿を達成するためには、私たちが手を取り合い、行政と町民の皆さん、関係機関などが協力していくことが大切です。

今月は、基本手段の1つ目と実現のための前期実行計画や具体的な事務事業計画についてお知らせします。

第5次弟子屈町総合計画の前期実行計画

※次のページから、まちづくりの基本手段のうち「人 まちづくりに興味と関心を持ち、行動する人を育てる仕組みを作ります」について、前期実行計画や事務事業計画を紹介します。

まちづくりを支えるネットワークの形成・交流活動支援

施策	施策メニュー	協働方針
人材を活かす	人材が活躍できる仕組みづくり	
	<p>人材に関するさまざまな情報を一元化して、町民などの相談に対応できる窓口(行政か中間支援組織(行政と地域の間にとってさまざまな活動を支援する組織)によるもの)の設置を検討します。</p> <p>特殊な技術や専門ノウハウを持つ人材・団体・企業などを登録バンク化し、町民や地域のニーズに応じて紹介する仕組みを検討します。</p> <p>地域づくり活動補助金制度を町民公募型とするなど、多様な人材が自主的に活動できる機会の創出を図ります。</p>	
人・団体・地域のネットワーク形成	<p>地域や活動分野などを超えてネットワークの輪を広げるため、地域づくりを行う団体の交流や、全国規模の団体登録システムへの参加などを促進します。</p> <p>団体活動の情報を集約・データベース化し、人材の紹介や情報の交流が行える仕組みを構築します。</p> <p>ネットワーク化により、都市部などの人材からも地域づくりへの協力を募集し、地域間交流や弟子屈への定住につながる仕組みを構築します。</p> <p>町民同士、町民と行政、地域間、団体間など、さまざまな立場の人が地域づくりなどについて話し合ったりする交流の場をつくるため、自治会など既存の組織を活用したり、新たに協議会を立ち上げるなどの取り組みを検討します。</p>	
	<p>観光を中心とした経済交流、文化交流を通じて、グローバル化(国や地域の垣根を越え、地球規模で資本や情報のやり取りが行われること)時代に対応できる人材の育成を図るとともに、町内を訪れる外国人や在住外国人の受け入れ体制の充実に努めます。</p> <p>中国3都市(河南省商丘市・山東省泗水県・濱州市濱城区)との友好交流について、弟子屈町日中友好協会を中心とした相互の交流を継続・支援していきます。</p>	
活発な地域間交流	国際交流活動の推進	
	<p>姉妹都市である鹿児島県日置市との交流については、児童生徒の相互交流を継続して推進していくとともに、観光・農業といった経済交流による相互の発展を図ります。町の歴史において縁のある岩手県久慈市、三重県松阪市との交流についても更なる友好関係を築き、相互の発展に寄与する人的交流・経済交流を図っていきます。</p> <p>首都圏の本町出身者を中心とした弟子屈ふる里会や札幌弟子屈会との交流について、継続して親睦を深め、まちの発展につながる協力関係を築いていきます。</p>	
交流人口の拡大と定住の推進	<p>人口減少対策としての移住促進に取り組みます。</p> <p>地域の担い手として活躍できる世代の定住化に取り組みます。</p>	

※来月は、まちづくりの基本手段の2つめ「公 誰でもまちづくりに参加することができる場や体制を作ります」について、前期実行計画や事務事業計画を紹介します。

問い合わせ先／役場企画財政課企画係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)



まちづくりの基本手段

人 まちづくりに興味と関心を持ち、行動する人を育てる仕組みを作ります

まちづくりは人づくりから。まちづくりを進め、実行するのは人です。地域の魅力を高めるのも人次第といえます。このため、地域づくりの担い手の育成やまちづくりネットワークの活性化、人材活用など、まちづくりに興味と関心を持ち、行動する人を育てる仕組みをつくりまします。

まちづくりの柱・施策(前期実行計画)・施策メニュー

人材育成・人づくり・人材の確保

施策	施策メニュー	協働方針
地域の魅力を高める人材育成	地域づくりの担い手の育成	
	<p>多くの人に「協働による地域づくり」への理解を深めてもらうための取り組みを行います。取り組みを進めるに当たり、特に先導的立場となる役場職員の意識を高めるため、職場内研修や地域担当制の導入、専門部署の設置などを推進します。</p> <p>地域活動やボランティア活動などを体験することにより「協働による地域づくり」への興味や関心、親しみを高めてもらう取り組みを行います。</p> <p>地域の課題の発見・解決に必要なノウハウ(技術や知識)を身につけるための取り組みを行います。民間による人材育成組織の構築も視野に入れます。役場職員については、協働の取り組みに必要なコーディネート(調整や取りまとめを行うこと)能力の養成を行います。</p> <p>「協働による地域づくり」を円滑に進めていくために、参加者をけん引するリーダーとなる人材を育成します。</p>	
	弟子屈ガイドの育成	
てしかが愛を育む取り組み	<p>児童生徒を中心に、授業と連動してふるさと教育を強化し、幼少のころからまちのことを考える子どもを育てます。</p> <p>てしかがのことをよく知っているてしかが博士を町民の中から育成し、地域で活躍してもらいます。</p> <p>各団体などと連動して、てしかが愛を育むイベントや認証制度に取り組みます。</p> <p>町内の特色を戦略的に整理した景勝地や特産品のPRにより、町外のとてしかがファンが1人でも増えるような活動に取り組みます。</p>	

協働方針について

町民の皆さんの協力や参画を得て、主に行政が取り組む協働



町民の皆さんと行政がこれまで以上に協力しながら進める協働

